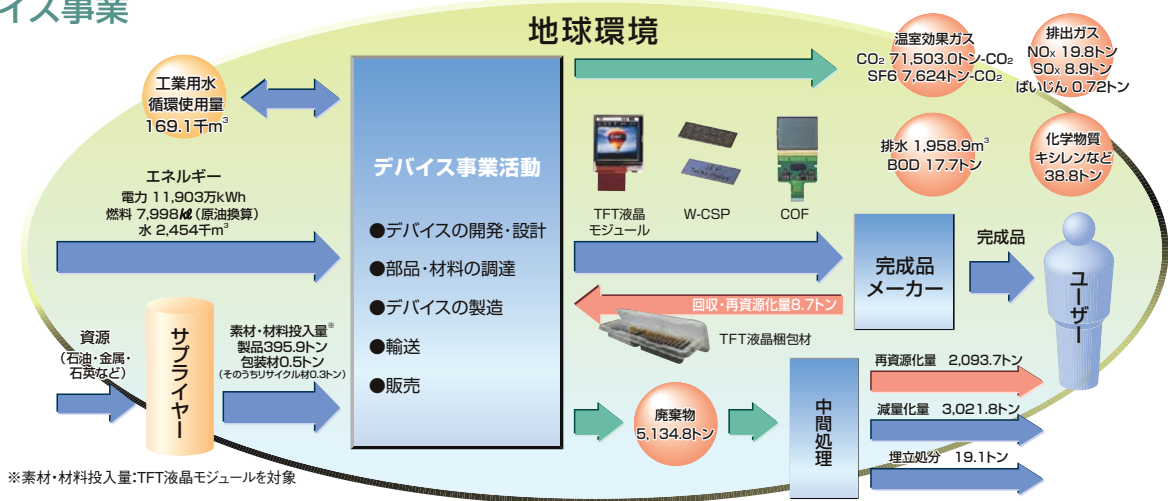


インプットとアウトプット

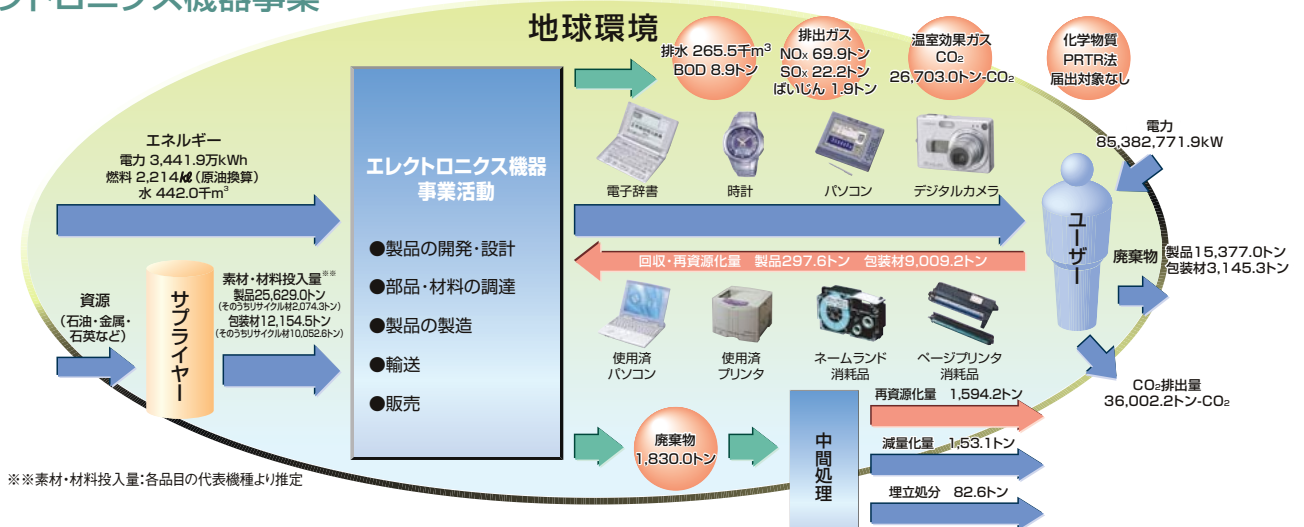
デバイス事業とエレクトロニクス機器事業の各事業活動における物質やエネルギーの投入量と排出による環境負荷を把握し、環境保全活動につなげていきます。

※デバイス事業は国内4拠点、エレクトロニクス機器事業は国内8拠点、海外6拠点を対象としています。

デバイス事業



エレクトロニクス機器事業



カシオグループのデバイス事業は、高知カシオのTFT液晶モジュール、カシオマイクロエレクトロニクスのW-CSP、COF、甲府カシオのLCDが主な生産品目となります。これらの生産にはミクロン単位の微細加工に必要な高度のクリーンルーム、また、工程中で極めて純度の高い水による水洗のための純水製造装置、洗浄後の排水を処理するための装置が設置されています。これらの設備で消費するエネルギーは、カシオグループ全体の約8割に達しているほか、化学薬品・薬液等もエレクトロニクス機器

事業に比べて格段に多く使用されています。生産工場では、積極的に省エネ、省資源、また、土壤汚染防止や大気排出による温暖化ガスの削減活動に努めています。カシオマイクロエレクトロニクスでは、土壤汚染防止のため、老朽化の進んだ排水処理設備と地下ピットの配管を整備し、さらに、排気ガスを処理する施設の整備をしました。エレクトロニクス機器事業では、エネルギーの使用が少ない事業の生産の多くを、中国を主とした海外に移管しましたが、国内では、デジタルカメラ、携帯電話などのハイ

テクノロジー機器を生産しているため、エネルギーの消費も多くなっています。一方、製品設計の段階では、組立時の省エネ、省資源など環境にやさしい製品づくりに取り組むとともに、使用時にも、従来の「軽・薄・短・小・ローパワー」技術をさらに高度なものとする製品づくりに努めています。各生産工場においても独自の省エネ活動を展開しています。